概要版

KYUSHUコネクトポート構想

～ヒト、コト、モノを繋ぎ、流れが変わる！～

2030年に向けた九州管内の港湾施策

国土交通省 九州地方整備局　港湾空港部

九州地方整備局では、国土交通省港湾局での検討を受けて、2030年頃の将来を見据え、九州管内地域を取り巻く外的・内的環境の急激な変化に対応し、かつ地域のポテンシャル・強みを最大限発揮して対応するために、九州管内港湾が目指すべき姿を、「九州管内港湾の中長期構想（KYUSHUコネクトポート構想）」としてとりまとめました。

KYUSHUコネクトポート構想（概要）

九州管内港湾のあるべき姿

アジアと交わり、産業とくらしを支え・発展し、力強い九州を生み出す港湾

基本的な理念

交流・交易活性化

アジア地域の活力を取り込み、諸外国との交易・交流を活性化させる我が国におけるアジアのゲートウェイ

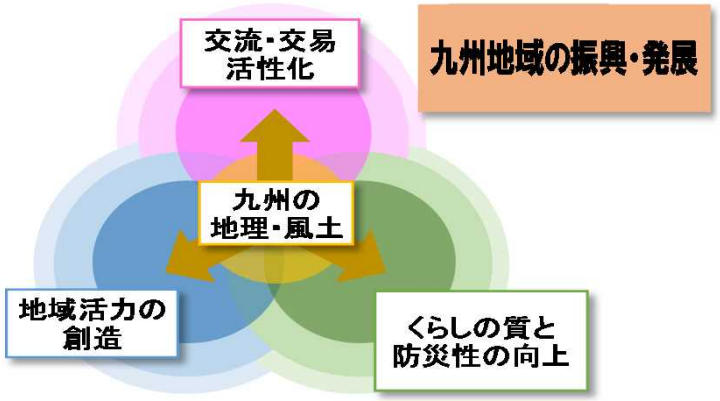
地域活力の創造

持続可能な経済成長と九州各地に集積するものづくり・次世代産業の高度化・発展を支えると共に、地域活力の創造に貢献する港湾

くらしの質と防災性の向上

風光明媚な景観や産業遺産、離島等のくらしを守り活かし、環境と調和し、かつ防災力の高い港湾

目指すべき将来像



九州管内港湾の目指すべき方向性と目標実現に向けた施策

基本的な理念

- 交流・交易活性化
- 地域活力の創造
- くらしの質と防災性の向上

6つの観点から方向性を設定
①国際海上コンテナ・国際フェリー・RORO
②内航海運
③バルク・完成自動車
④生産性向上
⑤観光・離島
⑥防災

方向性	目標
方向性① 九州の交易拡大を支えるグローバルサプライチェーンの構築	アジア市場獲得に向けた海上コンテナ輸送ネットワークの充実・強化 東アジア・欧州方面への小ロット多頻度輸送サービスの充実・強化 欧州向け貨物輸送サービスの向上 コールドチェーンネットワークの拡充 陸上輸送コスト・時間の削減 海上輸送サービスの定常性向上
方向性② 持続可能な産業発展と新たな価値を創造する国内物流体系の構築	内航海運の幹線ネットワークの充実・強化
方向性③ バルク・完成自動車の物流拠点形成による地域産業の活性化	バルク貨物の安定的かつ安価な輸入への貢献 木材の輸出拡大 完成自動車の輸出拡大 低炭素社会の実現への貢献
方向性④ ロジスティクス機能の強化による産業・港湾物流の高度化・効率化	港湾物流の生産性向上
方向性⑤ 人・まち・島・自然の活用による豊かな生活環境の創出と交流の活性化	クルーズ市場の拡大による観光活性化 離島地域の地域経済の維持・活性化 交流拠点としての役割の拡大
方向性⑥ 九州における港湾の強靭化と防災・危機管理対応力の強化	災害対応力の強化 港湾のセキュリティ向上

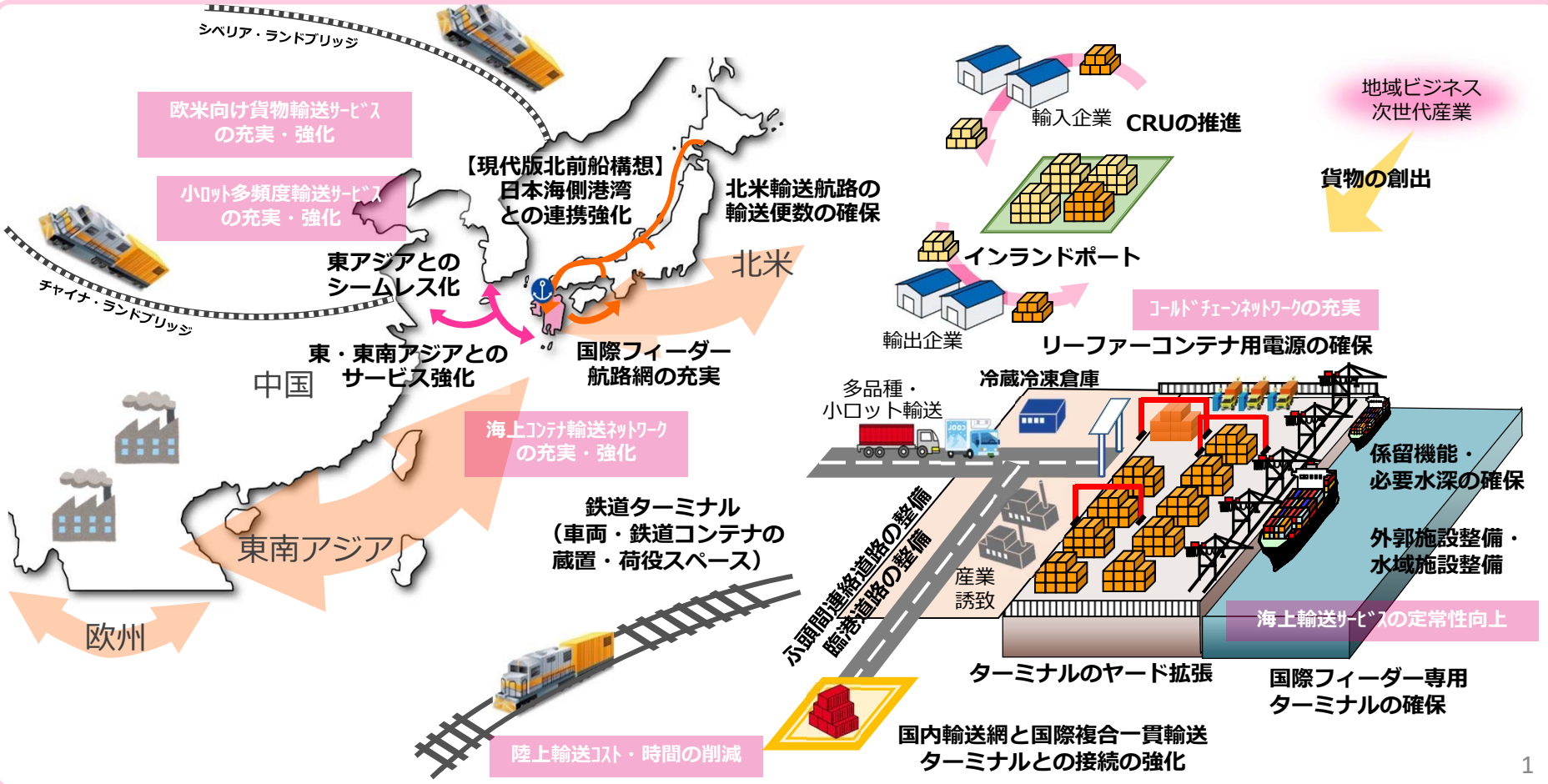
将来の情勢変化

- アジアの経済成長の継続
- 東南アジア・インドへの生産機能の南下
- グローバルサプライチェーンの深化
- 第4次産業革命の進展による生産性向上
- 諸外国との双方向交流の拡大
- 我が国における生産人口の減少
- 離島や国土縁辺部等の過疎化の進展
- ライフスタイルの変化と多様化
- 環境規制の強化の進展
- 大規模自然災害リスクへの対応

方向性① 九州の交易拡大を支えるグローバルサプライチェーンの構築
～　九州と世界をコネクト！　～

成長するアジア市場や基幹航路のアライアンス再編等の情勢変化の中でアジア・欧米方面のさらなる接続強化を図るため、多様な速度帯の国際海上輸送ネットワークの強化を図り、効率的で安定した貿易・物流サービスを提供する。

- 東南アジア・東アジア方面へのコンテナ航路サービスの強化（シャトル化・多頻度化）
- 国際フェリー・RORO船による東アジア方面、Sea&Railによる欧州方面へのシームレス物流の強化
- 基幹航路の維持・国際戦略港湾との円滑な接続
- 農水産品等の輸送に係る低温物流拠点の形成
- 背後地域とのアクセスの強化と横持ち距離の短縮
- 安全かつ安定的な国際海上輸送サービスの提供



方向性② 持続可能な産業発展と新たな価値を創造する国内物流体系の構築
～　九州と日本各地をコネクト！　～

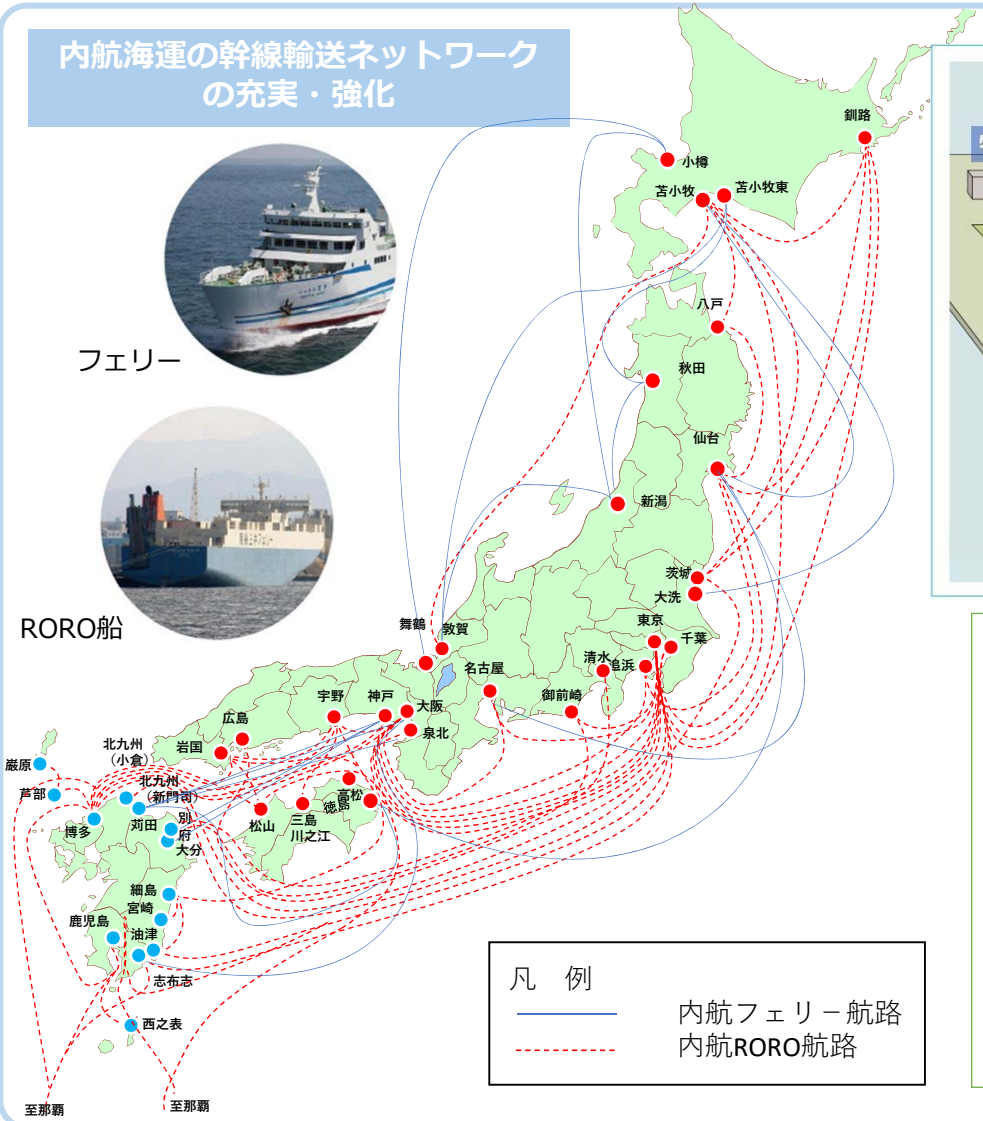
内航海運の安定性を確保し、将来のトラックドライバー不足に対応するため、海上輸送へのモーダルシフトを推進し、フェリー・RORO船による幹線ネットワークを充実・強化する。

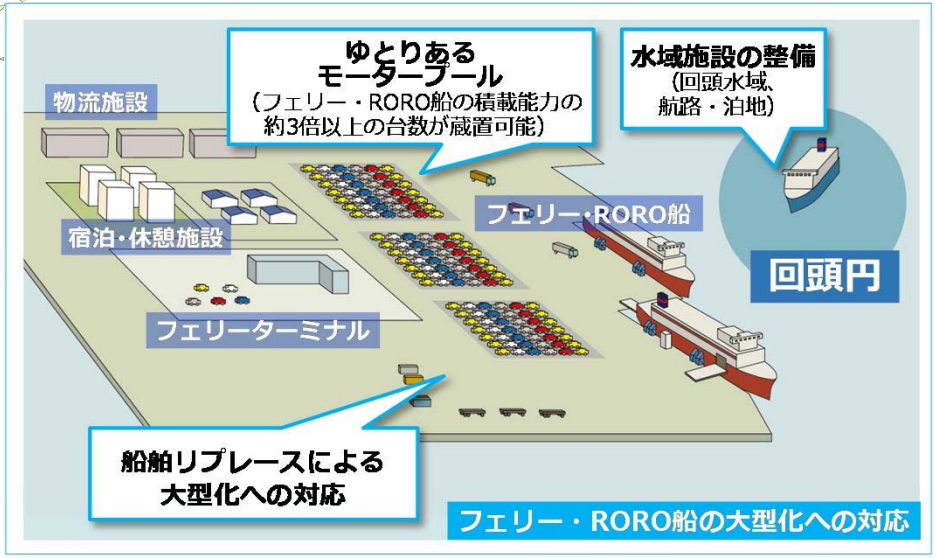
- フェリー・ROROターミナルの機能強化

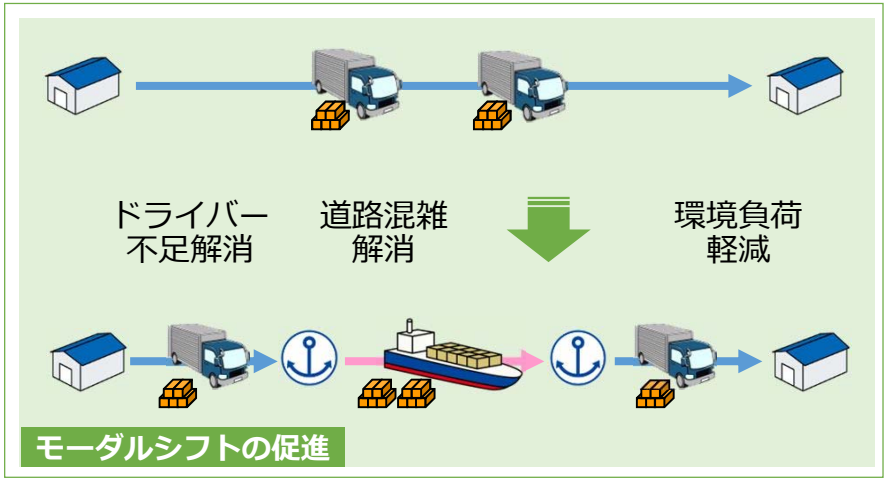
内航海運の幹線輸送ネットワークの充実・強化

フェリー

RORO船





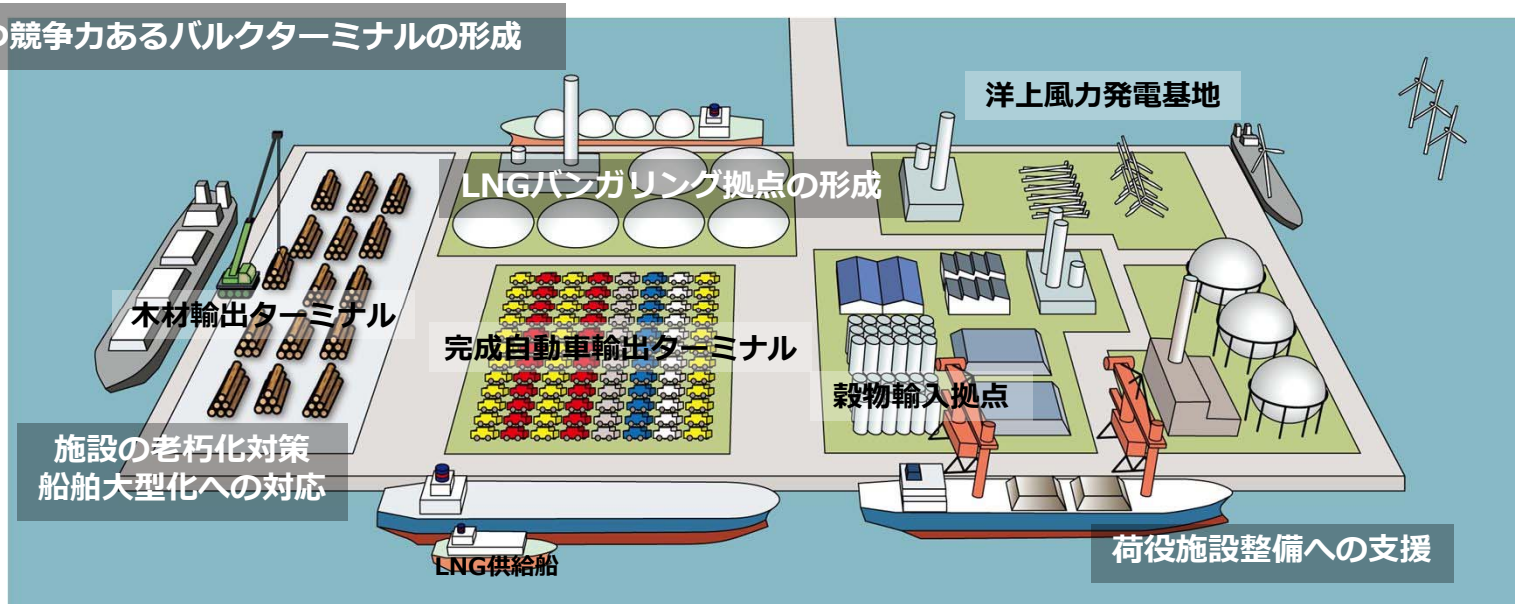


方向性③ バルク・完成自動車の物流拠点形成による地域産業の活性化
～　地域産業と生産・消費地をコネクト！　～

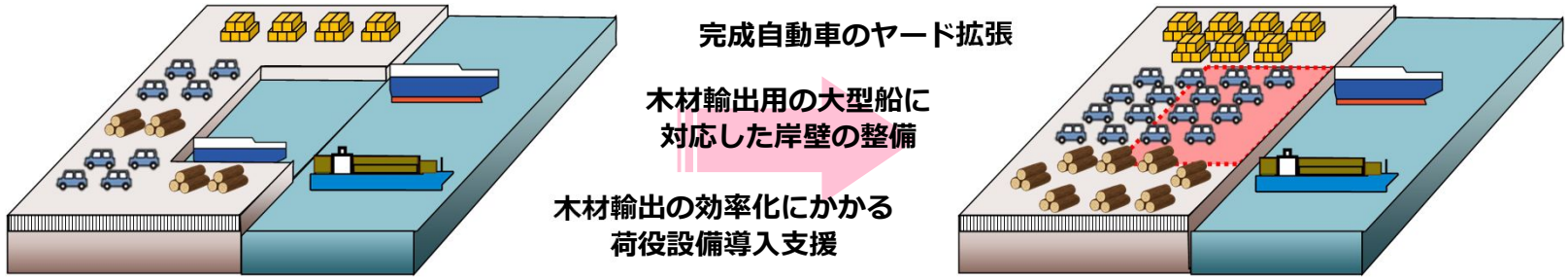
地域産業の活性化及び船舶の大型化に伴う施設の機能強化等に対応するため、原材料・エネルギー資源の輸入効率化、バルク・完成自動車輸出拠点の形成等により産業競争力を強化する。

- 国際バルク戦略港湾（志布志港）の整備の推進
- 安定かつ競争力のあるバルク貨物輸送サービスの充実・強化
- 木材輸出の促進に向けた港湾機能の強化
- 完成自動車輸出の促進に向けた港湾機能の強化
- 再生可能エネルギー関連産業の支援・LNGの導入拡大

安全かつ競争力あるバルクターミナルの形成



ふ頭再編等による新たなニーズへの対応



方向性 ④

ロジスティクス機能の強化による産業・港湾物流の高度化・効率化
～　海上輸送を先端技術でコネクト！　～

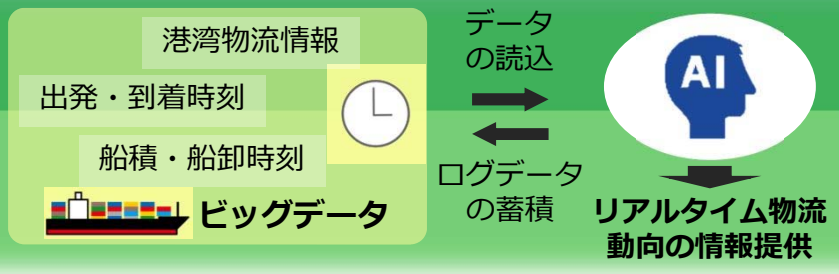
グローバルサプライチェーンの進展に対応するため、迅速かつ確実な輸送サービスを提供し、最新技術等を用いてコンテナターミナル及びフェリー・ROROターミナルの港湾物流の生産性向上を図り、効率的なサプライチェーンを構築する。

- 最新技術等を用いた港湾物流機能の向上

先端情報技術を活用した国内外におけるコンテナ物流情報の提供による物流効率化（港湾物流の生産性向上）

RTG（ﾀｲﾔ式門型クレーン）

AGV（無人搬送車）



方向性 ⑤ 人・まち・島・自然の活用による豊かな生活環境の創出と交流の活性化

～　ヒト・まち・島をコネクト！　～

アジアとの近接性や九州が有する地域資源を生かし、クルーズ市場拡大及び賑わい拠点形成により観光活性化を図る。また、多数有する離島地域での生活・産業を支えるため、海上輸送機能を確保・向上させる。

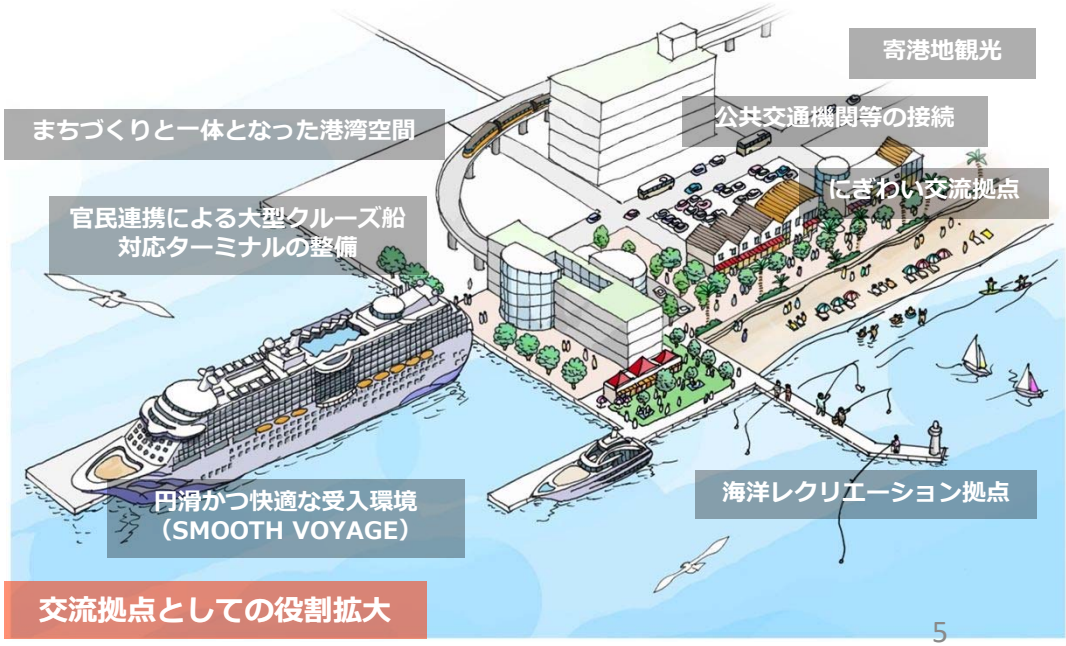
- 官民連携による国際クルーズ拠点の形成と、港湾・空港・観光地域との連携による九州発着クルーズの増大
- 離島の生活・産業の安定・安心・安全を支える海上輸送機能の確保と向上
- 海の玄関口にふさわしい交流の場の形成
- 港湾空間の民間開放を通じた新たな親水空間の創出

離島地域の地域経済の維持・活性化

クルーズ市場の拡大による観光活性化

メガヨット

大型クルーズ船



交流拠点としての役割拡大

方向性⑥

九州における港湾の強靭化と防災・危機管理対応力の強化

～　国民生活の安心・安全をコネクト！　～

大規模自然災害や有事に備え、港湾物流のバックアップ機能強化及び保安体制の強化によりリダンダンシーを確保し、緊急時の危機管理対応力を強化する。

- 自然災害時の早期復旧・復興支援に向けた、堤外地を含む臨海部の物流機能の強化
- 大規模自然災害時のバックアップ機能の確保
- 流木・流出油等の海洋汚染への迅速な対応
- 港湾保全機能の強化